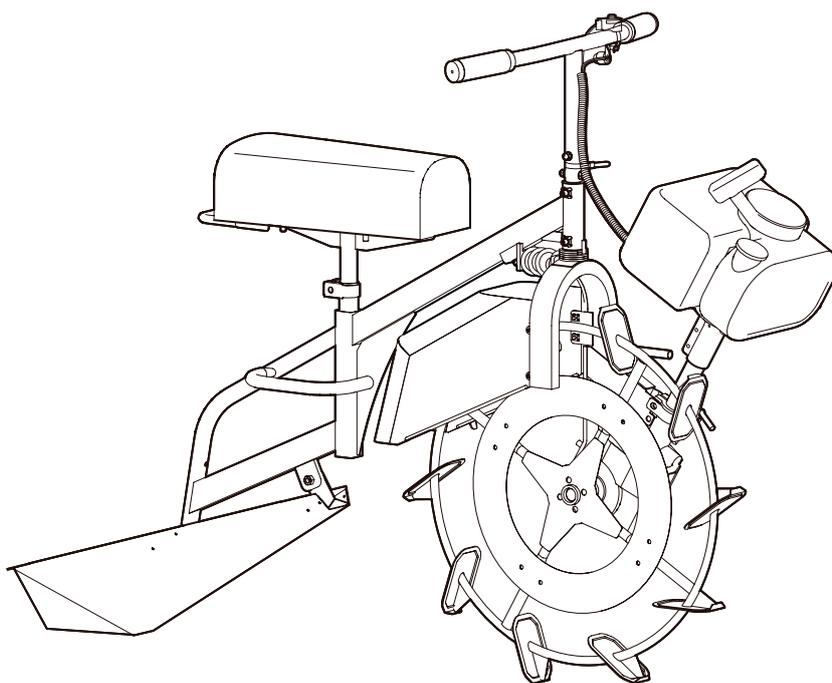




ゼノア乗用溝切機 取扱説明書

NTH4000



ガソリンのみで使用しないでください。

取扱説明書を読み、十分理解するまでは、操作および
保守・点検を行わないでください。

この取扱説明書は機械の近くに大切に保管してください。

目次

はじめに	1
 安全作業を行うために	2
 警告表示について	4
溝切作業の効果	5
各部名称・梱包内容	6
組立て	8
作業前の準備	12
作業方法	15
調節箇所	20
保守・点検・保管	22
主要諸元	23
補修用部品について	24

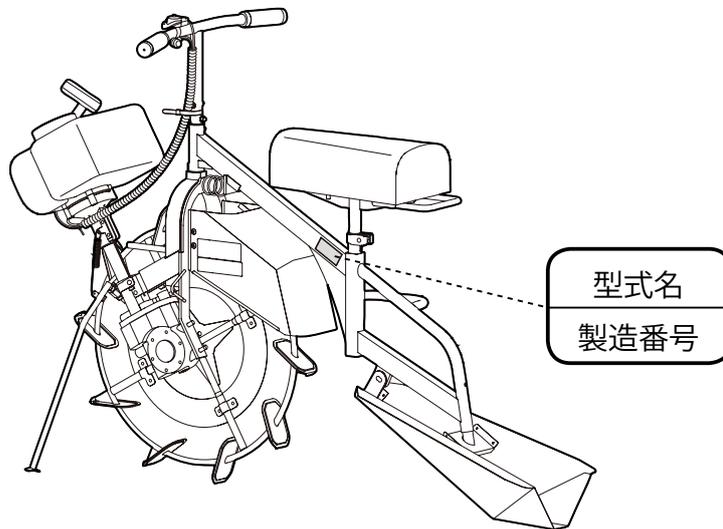
はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書には、安全に関する事項や本機の正しい取扱い方法、保守、点検等について説明していますので、ご使用前にご熟読の上、本機の持つ性能を十分発揮してご使用ください。

アフターサービスについて

- サービスについてのご用命は、お買い上げいただいた『販売店』にご相談ください。
その際、型式名及び製造番号をお知らせください。



取扱説明書をよく読みましょう

- 本製品の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
- この取扱説明書に従わなかった為に、あるいは誤使用や無断改造がなされた為に発生した損害や事故について、弊社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- この説明書を1シーズンに1度は必ず読み、機械への理解を深めて頂く為に大切に保管してください。
- 製品の仕様変更により、本書の内容と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

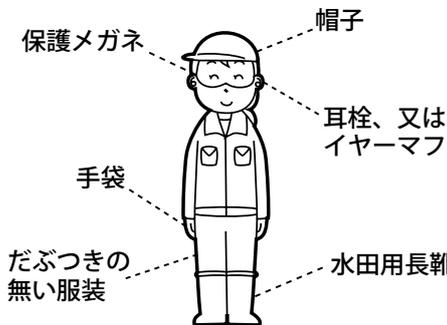
本製品の使用目的

- 本製品は、水田溝切作業を目的とした製品です。
この目的範囲外の使用が原因で生じた損害や事故に関して、弊社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠️ 安全作業を行うために

安全作業をして頂く為には、機械の取扱いを熟知し、正しく取扱うことが大切です。
作業を開始する前に、機械操作する運転管理者を決めてください。

作業前にこれだけは守りましょう！

運転者等の条件		作業前の確認	
⚠️ 警告		⚠️ 注意	
 指示	<p>機械操作をよく覚えた人が運転してください。 ※事故、重傷の原因となります。</p>	 指示	<p>始業点検を行い、常に機械を安全な状態に維持してください。 ※事故、けがの原因となります。</p>
 禁止	<p>次の人は運転してはいけません。 ・酒気をおびた人・妊娠中の人・子供 ・未熟者、過労、その他病気などで 正常な運転操作が出来ない人 ※事故、重傷の原因となります。</p>	 指示	<p>作業中すみやかに作業を中止する場合に備え、停止スイッチの位置を確認しておきます。 ※事故、けがの原因となります。</p>
<p>・服装は作業に適したものを着てください。だぶついた服や、紐のある服は危険です。 ・紐、ロープ類等、巻き込まれる恐れのあるものは身に着けないでください。 ・長い髪は束ねてください。 ※回転部に巻き込まれる恐れがあり危険です。 ・保護メガネ（飛散物から目を守る）、耳栓（騒音から耳を保護する）、帽子（直射日光や、万が一の衝撃から頭を保護する）、手袋、水田用の長靴を着用してください。 ※重傷の原因となります。</p>		燃料の補給	
		⚠️ 危険	
 指示		 火気厳禁	<p>燃料の補給は火気の無い場所で行ってください。 ※火災の原因となります。</p>
 エンジン停止		<p>燃料の補給はエンジンを止めて、冷えてから行ってください。 ※火災の原因となります。</p>	
 指示		<p>給油後、タンクキャップから燃料もれの無いことを確認してください。燃料をこぼした時はふき取ってください。 ※火災の原因となります。</p>	
		エンジンについて	
		⚠️ 警告	
 禁止		 禁止	<p>エンジンの始動は、ガソリンや揮発性のある薬品類等が近くにあるところでは行わないでください。 ※火災の原因となります。</p>
 指示		 指示	<p>エンジンの始動は、燃料補給場所から3m以上離れた場所で行ってください。 ※こぼれた混合燃料へ引火し、火災の原因となります。</p>
 指示	<p>夜間および風雨のとき、作業は行わないでください。 ※事故、重傷の原因となります。</p>	 排ガス注意	<p>排気ガスは人体に有毒ですから吸わないでください。また、顔を近づけないでください。 ※健康被害を引き起こす恐れがあります。</p>

 **注意**

 禁止	<p>エンジンをクラッチケースから外して始動しないでください。 ※クラッチが飛び出し、危険です。</p>
 指示	<p>エンジンの始動は安定した場所で行ってください。 ※不安定な場所で始動すると、転倒の原因となり、危険です。</p>
 エンジン停止	<p>作業中以外は、必ずエンジンを停止してください。また、次の作業はエンジンが冷えた後に行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動時、運搬時 ・各部点検、整備、清掃のとき ・車輪に巻きついた、ワラ、草等を取り除くとき <p>※事故、けが、火災の原因となります。</p>

作業の注意点

 **注意**

 指示	<p>エンジンの回転を上げるときは、ゆっくりとスロットルレバーを操作してください。 ※急激に操作すると急発進して危険です。</p>
 指示	<p>草やワラ等がエンジン内部へ入り込んだときはすみやかにエンジンを停止し、エンジンが冷えた後に稲を取り除いてください。 ※火災の原因となります。</p>
 指示	<p>振動障害を防止するため適度に休憩を取ってください。</p>

乗ってはいけない場所

 **警告**

 乗車禁止	<p>圃場以外（道、畦等）では本機に乗らないでください。 ※事故、重傷の原因となります。</p>
 乗車禁止	<p>本機に乗ったまま、圃場から畦に乗り上げないでください。 ※事故、重傷の原因となります。</p>

触れてはいけない場所

 **注意**

 さわるな	<p>運転中及び停止直後のエンジンのシリンダー、マフラーや、減速機など高温部に触れないでください。 ※火傷の恐れがあります。</p>
 さわるな	<p>運転中は、点火プラグおよびプラグコードに触れないでください。 ※感電の恐れがあります。</p>

点検、整備

 **注意**

 指示	<p>シーズン終了時には、機械の点検、整備を必ず行ってください。 ※事故、けがの原因となります。</p>
 指示	<p>機械に異常（異常音、異常振動、不具合）を感じたときは、直ちに作業を中止して、お買い上げいただいた「販売店」にご相談ください。 ※事故、けがの原因となります。</p>

他人に機械を貸すときは

 **警告**

 指示	<p>「取扱説明書」をよく読んでもらい、取扱い方法や安全作業のポイントをよく理解してから作業するように指導してください。 機械と一緒に「取扱説明書」を貸してあげてください。</p>
---	--

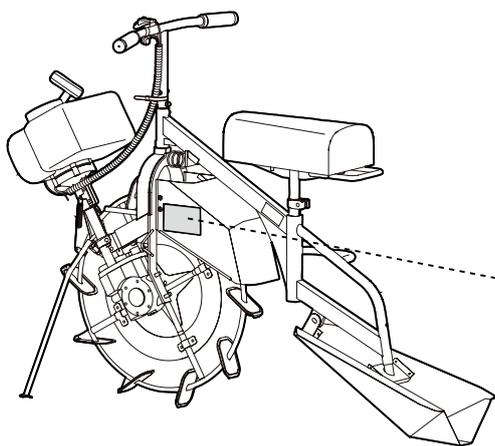
⚠ 警告表示について

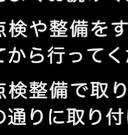
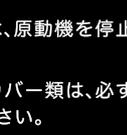
警告表示について

- 本製品や取扱説明書には、安全な取扱いに関する事項について下記『警告表示』を示しています。

 危険	この表示はその警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性が高いと考えられる項目に使用します。
 警告	この表示はその警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性が考えられる項目に使用します。
 注意	この表示はその警告に従わなかった場合、けがや火傷する可能性が考えられる項目に使用します。

- 警告表示の内容を守らないと人身事故の危険性があります。必ず読んでください。
- 機械に貼ってある『警告表示ラベル』が破損したり、無くなったり、塗料がついたり、または読めなくなったら、新しいラベルに替えてください。
- ラベルが貼ってある部品を交換する時は、新しいラベルも一緒に付けてください。
- ラベルは機械のお買い上げ先にご注文ください。



 注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読みください。 2. 点検や整備をするときは、原動機を停止してから行ってください。 3. 点検整備で取り外したカバー類は、必ず元の通りに取り付けてください。 	
 火気厳禁	 排気ガス注意	 高温注意
給油時エンジン停止。こぼれた燃料は必ず拭き取ること。	室内や換気の悪い所での運転禁止。排気ガスは人体に有害で危険です。	マフラーやその付近に触れないこと。やけどします。

コード番号 OT157120000

取扱いのポイント

- 機械の性能を最大限に発揮するための説明をしています。
- 守らないと本来の性能を発揮できないか、または故障の原因になることがあります。

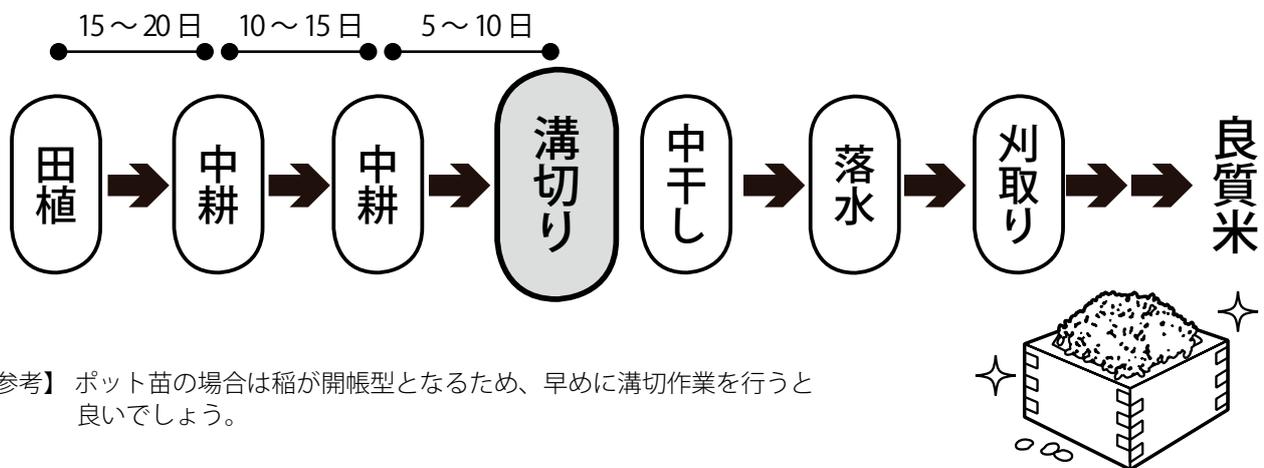
溝切作業の効果

溝切作業の効果

『中耕』がすんだら『溝切り』を!!

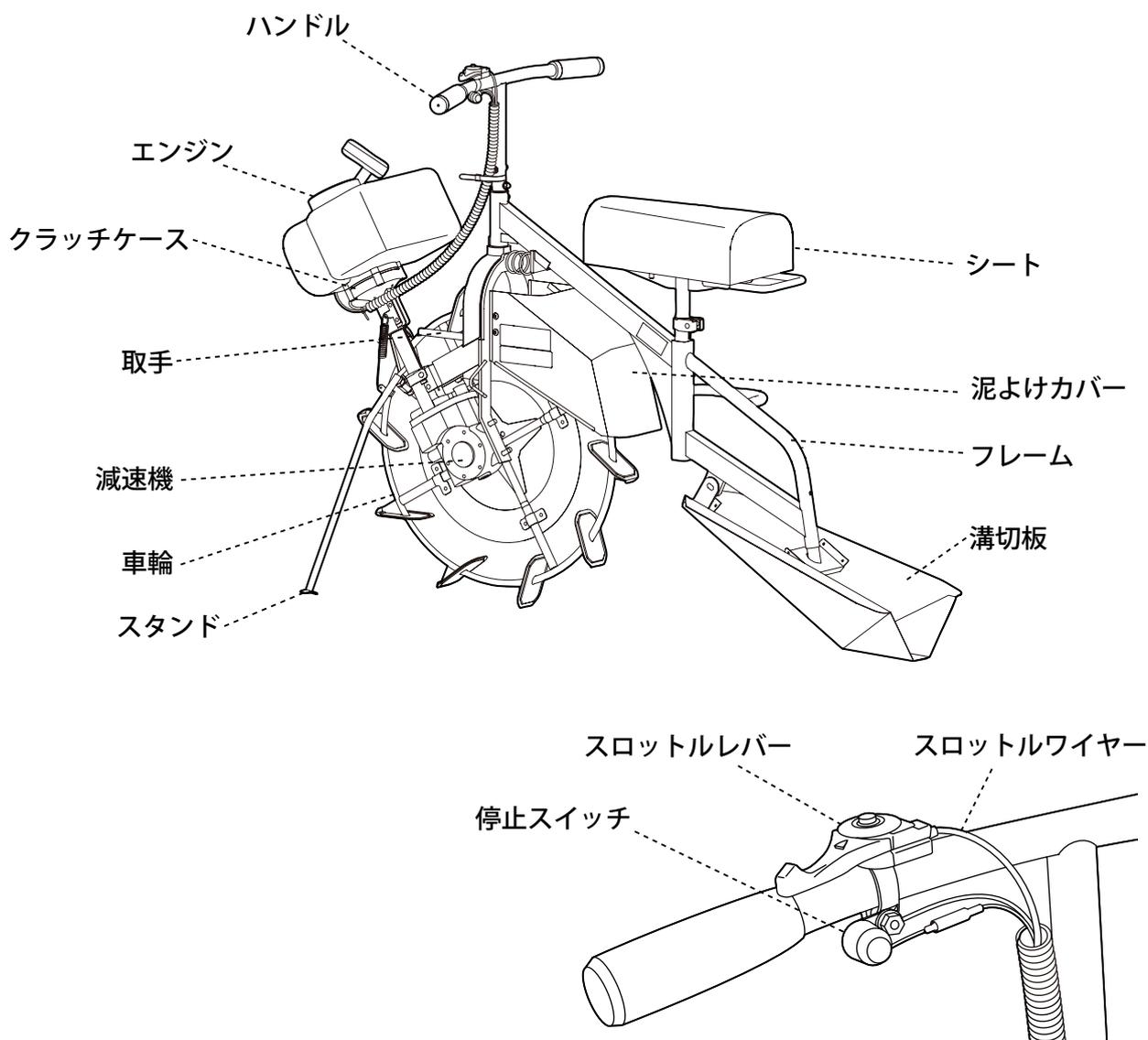
- 稲の生育にあわせた灌排水管理ができます。
- 中干しの効果を高めます。
不必要な分けつを抑え、土中に酸素を補給し、根を健全にして登熟を良好にします。
- 増収と品質向上。
生育後半の養分吸収や環境条件が良くなる。
特にコンバインの為に落水を早める必要も無く、落水適期まで灌水することができ、品質、収量が上がります。
- 土中の有毒ガスを排除し、生育安定化に役立ちます。
- 地表水の排水が良くなり、地耐力が強化され、諸作業の能率を高めます。
- 稲の収穫後も排水良好で、裏作や野菜等の作付けにも有利です。

中耕・溝切り作業体系

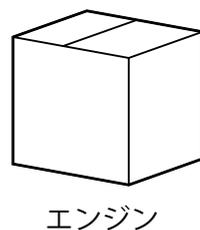
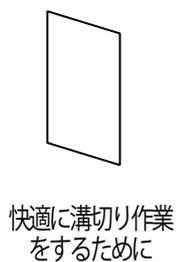
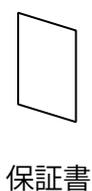
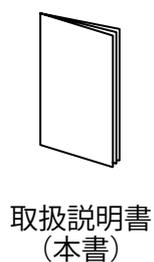


各部名称・梱包内容

各部名称

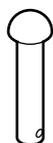


付属品



スロットルレバー
スロットルワイヤー
エンジンの取扱説明書

車輪取付用



セットピン A



スナップピン (大)



バネ座金付き
六角ボルト (M8x25)



ザガネ

溝切板取付用



セットピン B

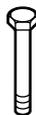


スナップピン (小)



バネ・平座金付き
六角ボルト (M8x30)

ハンドル取付用



ハンドル固定ボルト (M6)
(2 本)



袋ナット (M6)
(2 個)



SW (M6)
(2 個)



PW (M6)
(4 個)

エンジン取付用



バネ・平座金付六角ボルト
(M6x35) (4 本)



停止スイッチ

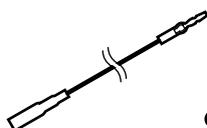


ナベコネジ (M5x25)

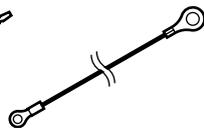


座金付六角ナット (M5)

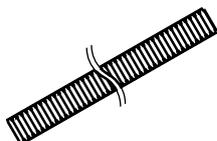
コード類、ほか



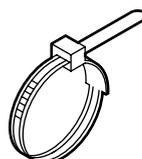
リード線



アース線



コルゲートチューブ



リピートタイ
(黒)



結束バンド
(白)



予備オイル

組立て

1

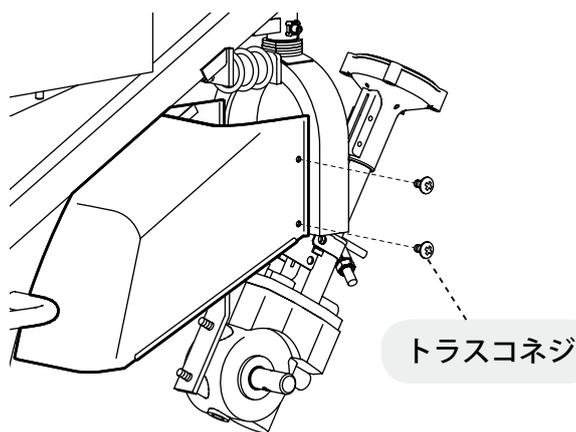
スロットルレバー側
リード線 … メス端子
アース線 … 端子 (小)



エンジン側
リード線 … オス端子
アース線 … 端子 (大)

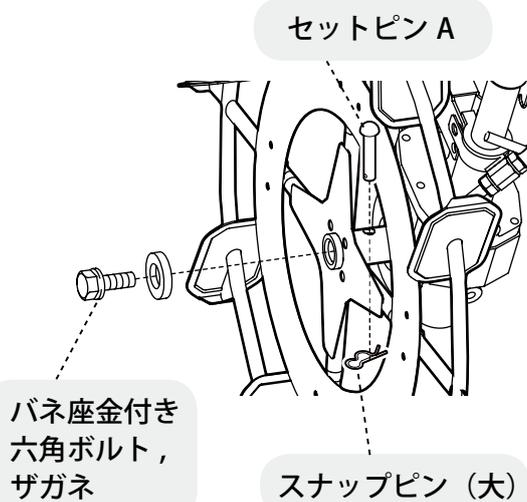
- コルゲートチューブの中に、アース線、リード線、スロットルワイヤーを入れておきます。

2



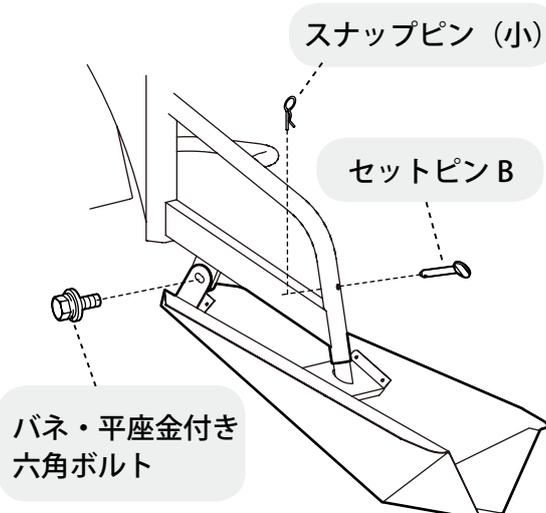
- 泥よけカバーを外します。
トラスコネジ M5x12 (4個)

3



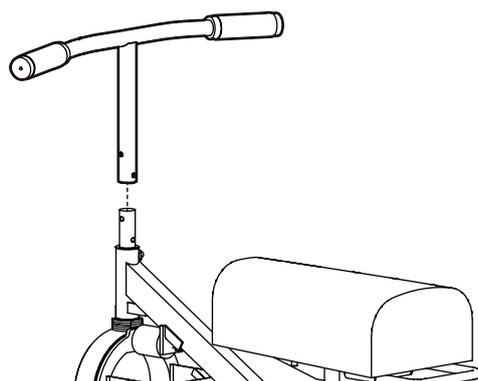
- 車輪を取付けます。
- 減速機に、車輪を取付けます。
セットピン A を差込み、スナップピン (大) で固定します。
- バネ座金付き六角ボルト (M8x25)、ザガネを締めます。
- 2 で外した泥よけカバーを取付けます。

4

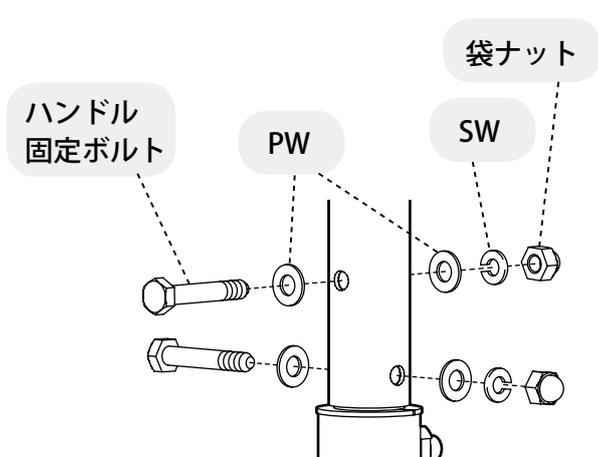


- 溝切板を取り付けます。
- 溝切板を、フレームに差し込みます。セットピン B を差し込み、スナップピン (小) で固定します。
- バネ・平座金付き六角ボルト (M8x30) を締めます。

5



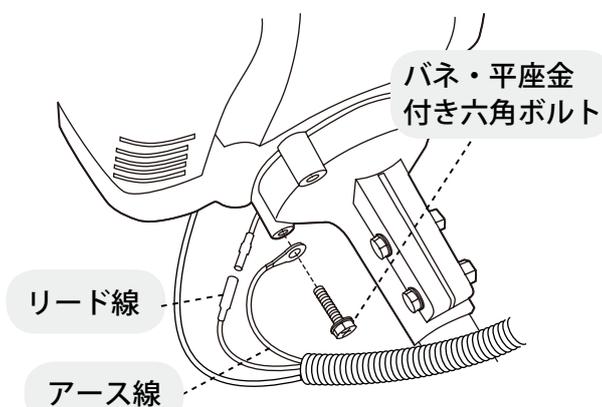
- ハンドルを取付けます。
- ハンドル固定ボルト (1x2 本)、PW (2x2 個)、SW (1x2 個)、袋ナット (1x2 個) を下図のように締めます。
- ハンドル固定ボルトと、差込穴のはめあいはキツくなっています。



プラスチックハンマーを使用し、ボルトの頭を軽い力で、少しずつ叩きながら差し込んでください。

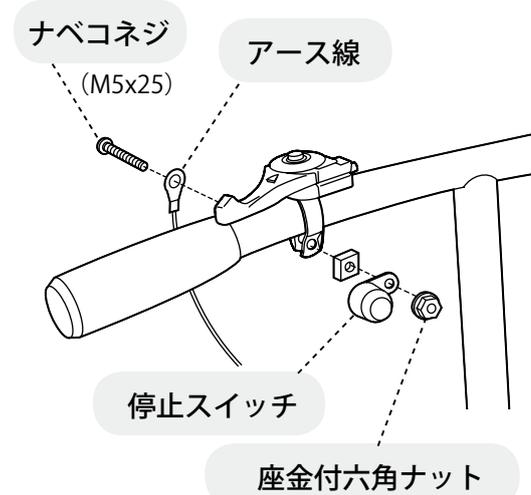
ハンドル固定ボルト 1 本を差し込んだら、袋ナットで締める前に 2 本目を差し込んでください。

6



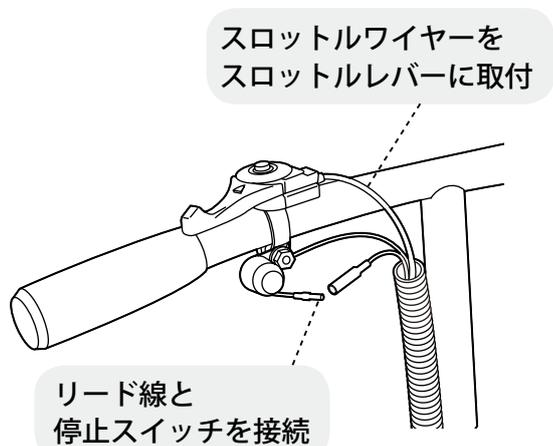
- エンジンをクラッチケースに取付けます。バネ・平座金付六角ボルト M6x35 (4本) を締めてください。
- その際、アース線を図の位置で共締めにします。
- リード線をエンジンに接続してください。

7



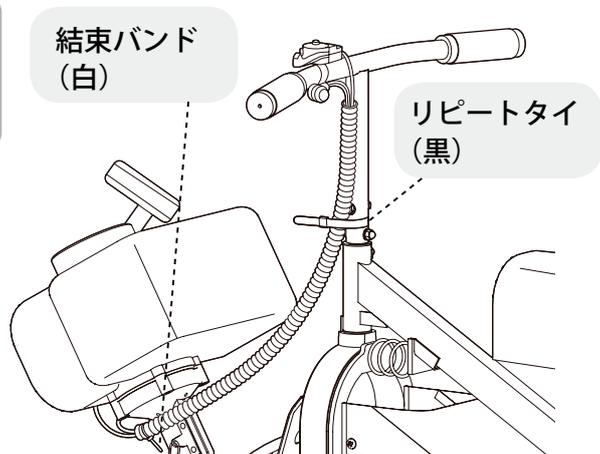
- スロットルレバーをハンドルに取付けます。その際、停止スイッチとアース線を共締めにします。
- スロットルレバーに取付けてあるナベコネジ (M5x20) は使用せず、本機付属品のナベコネジ (M5x25) を使用してください。

8



- リード線と停止スイッチを接続します。
- スロットルワイヤーをスロットルレバーに取付けます。

9



- リピートタイ (黒) でコルゲートチューブをハンドルに固定します。その際、コルゲートチューブが車輪に当たらないように固定してください。
- エンジン側のコード類をコルゲートチューブの上から、結束バンド (白) でまとめます。
- 上記のコード類がゆるんで車輪に当たらないようにしてください。

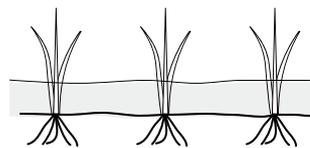
取扱いのポイント

- 各部ネジ類の締め付けは確実にいき、ゆるみやガタつきが無いようにしてください。

作業前の準備

1. 圃場の準備

- 圃場一面に水が入った状態で作業を行います。(水深 5cm 程度)
(別紙「快適に溝切り作業をするために」参照)



取扱いのポイント

- 乾いた圃場で作業を行うと、減速機が過熱し、ギヤオイルの吹き出しや、ギヤの早期摩耗を引き起こします。

2. 機械の運搬

⚠ 注意

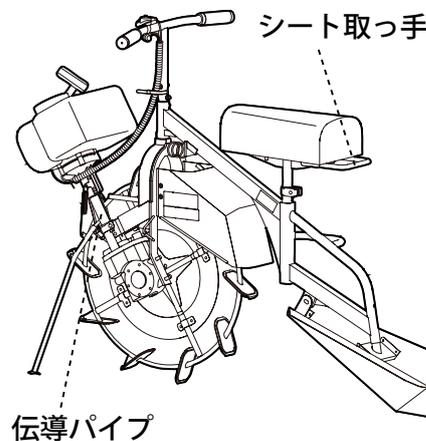


エンジン停止

機械の運搬時はエンジンを停止してください。 ※事故、けがの原因となります。

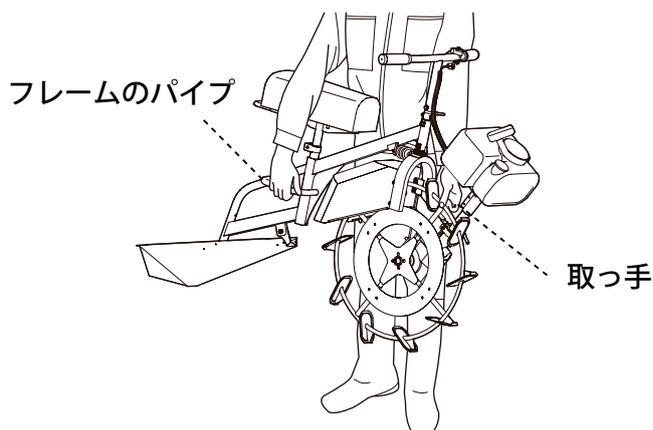
■圃場までへの移動

- エンジンの燃料タンクは空にしてください。燃料は金属製の缶に入れて運搬してください。
- 軽トラック等、運搬用車両で運搬する場合は、固定ベルトやゴムバンド等で荷台へ固定してください。ただし、本機を強い力で締め付けすぎないようにしてください。破損する恐れがあります。特に、伝導パイプや、シート取っ手には強い力がかからないようにしてください。
- 本機を倒した状態で運搬しないでください。破損する恐れがあります。



■機械の持ち上げ方

- ① スタンドを上げます。
- ② 下図のように、右手でフレームのパイプ、左手でエンジンの下にある取っ手を持ってください。



3. 停止スイッチの確認

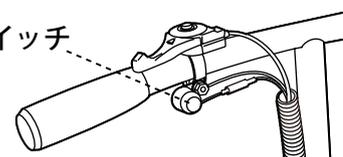
⚠ 注意



作業中すみやかに作業を中止する場合に備え、
停止スイッチの位置を確認してください。

※事故、けがの原因となります。

停止スイッチ



4. 各部の点検

⚠ 注意



下記項目について、各部の点検を作業前には必ず行ってください。

※機械の点検、整備が不十分なまま運転を行うと、事故やけがの原因となります。



エンジンを止め、冷えてから行ってください。

※事故、火傷の原因となります。

点検箇所		処置方法
エンジン	マフラ排気口のつまり	お買い上げ頂いた『販売店』に相談してください。
	燃料タンクおよび燃料ホースの破損	お買い上げ頂いた『販売店』に相談してください。
	テールパイプの脱落	装着
	草やワラ等の侵入	清掃
スロットルレバー ワイヤー	スロットルレバーとワイヤーの動きが 連動しているか。 ワイヤーが断線していないか。	調整、ワイヤーの交換。
減速機	取り付けボルトのゆるみ	増し締め
	オイルのまれ	お買い上げ頂いた『販売店』に相談してください。
車輪	取り付けボルトのゆるみ	増し締め
	取り付けピンの脱落	装着
	ゆがみ	交換
ハンドル	取り付けボルトのゆるみ	増し締め
泥よけカバー	取り付けボルトのゆるみ	増し締め
	破損	交換
シート	取り付けボルトのゆるみ	増し締め
溝切板	取り付けボルトのゆるみ	増し締め
	取り付けピンの脱落	装着
	ゆがみ、破損	交換

5. 燃料の補給

⚠ 危険



火気厳禁

燃料の補給は、火気のない場所で行ってください。

※火災の原因となります。



エンジン停止

燃料の補給は、エンジンを止め、冷えてから行ってください。

※火災の原因となります。

⚠ 警告



指示

燃料給油後は、タンクキャップから燃料もれの無いことを確認してください。

また、燃料をこぼした時は、すみやかに拭き取ってください。

※火災の原因となります。

- 燃料は自動車用ガソリンと、2サイクル専用オイルの混合燃料を使用します。
- 燃料について詳細は、エンジンの取扱説明書をお読みください。

取扱いのポイント

- ガソリンのみで運転しないでください。 ※エンジン焼付きの原因になります。

6. 圃場への出し入れ

⚠ 警告



エンジン停止

エンジンを停止してください。

※事故、重傷の原因となります。



乗車禁止

本機に乗車した状態で、圃場へ出入りしないでください。

※事故、重傷の原因となります。

1. エンジンの始動

⚠ 警告



禁止

エンジンの始動は、ガソリンや揮発性のある薬品類等が近くにあるところでは行わないでください。

※火災の原因となります。



指示

エンジンの始動は、燃料補給場所から 3m 以上離れた場所で行ってください。

※こぼれた混合燃料へ引火し、火災の原因となります。



排ガス注意

排気ガスは人体に有毒ですから吸わないでください。また、顔を近づけないでください。

※健康被害を引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意



さわるな

運転中は点火プラグや、プラグコードに触れないでください。

※感電の恐れがあります。



さわるな

火傷防止の為、運転中及び停止直後のエンジンのシリンダ、マフラや、減速機など高温部に触れないでください。

※火傷の恐れがあります。



指示

エンジンの始動は安定した場所で行ってください。

※不安定な場所で始動すると、転倒の原因となり、危険です。



指示

暖機運転中等、運転時は機械から離れずに、他人が近づかないようにしてください。

※事故、けがの原因となります。



禁止

エンジンをクラッチケースから外して始動しないでください。

※クラッチが飛び出し、危険です。



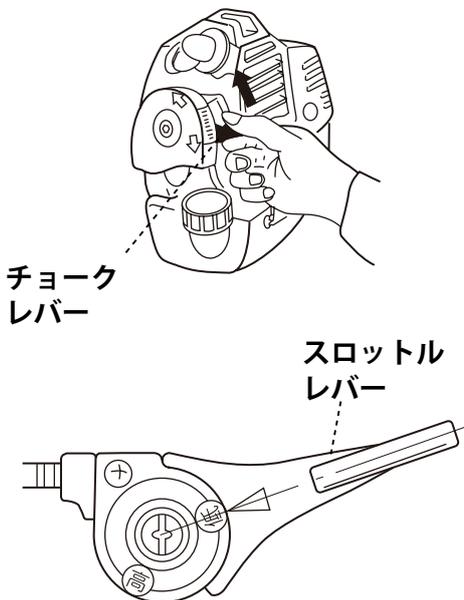
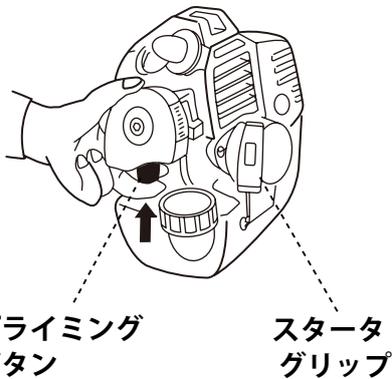
指示

草やワラ等がエンジン内部へ入り込んだ時は、すみやかにエンジンを停止し、エンジンが冷えた後に取り除いてください。

※火災の原因となります。

- 次頁より、エンジンの始動と停止について記載していますが、必ず、エンジンの取扱説明書も合わせてお読みください。

※イラストは一般的なエンジンを表していますので、実際と異なる場合があります。



- ① プライミングボタンを指が当たるまで繰り返し押ししてください。(10回以上) プライミングボタンを押すと、燃料を汲み上げ、始動を容易にします。
- ② チョークレバーを全閉位置 ( マーク側) にしてください。燃料が残っていて、且つエンジンが暖まっている場合は、チョークレバーを全開位置 ( マーク) にしてください。
- ③ スロットルレバーを『低』の位置 (アイドリング位置) にしてください。
- ④ スタータグリップを軽く引き、重くなった位置から強く勢いよく引いてください。(その際ロープを最後まで引かないでください。)
- ⑤ 始動後、エンジンの調子を見ながら徐々にチョークレバーを全開位置 ( マーク側) にしてください。
爆発音のみで始動しない場合は、チョークレバーを全開位置にして再びスタータグリップを勢いよく引っばってください。

※ 本エンジンはプライミングボタン操作を行った時、余分な燃料はタンクに戻る構造になっています。プライミングボタン操作を多く行っても吸い込みすぎ状態になりません。むしろ少ない場合に始動不良になることがありますので、十分に行ってください。

⑥ エンジンが始動したら、そのまま1～2分間暖機運転してください。

⚠ 注意

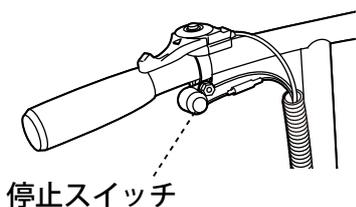
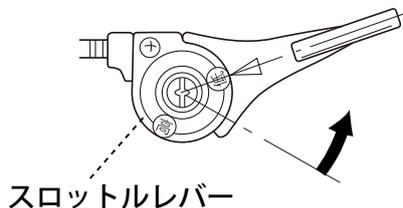


スロットルレバーが『低』の時、車輪が停止することを確かめてください。
停止しない時は『エンジンの取扱説明書』を読んで調整してください。



ここで実作業に入る前に、次頁『2. エンジンの停止』の項に従って、停止スイッチを押して、エンジンが停止することを確認し、停止の練習をしてください。

2. エンジンの停止



- ① スロットルレバーを低速位置にします。
- ② エンジンが停止するまで、停止スイッチを押します。

⚠ 注意



指示

緊急時は、ただちに停止スイッチを押してください。

取扱いのポイント

- 緊急時以外は、スロットルレバーを低速位置に戻してから、エンジンを停止してください。

※高速回転中に急に停止させると、エンジンに負荷がかかり、故障の原因になります。

3. 作溝作業

⚠ 注意



エンジン停止

作業中に異常な音や振動が発生した場合は、ただちにエンジンを停止してください。



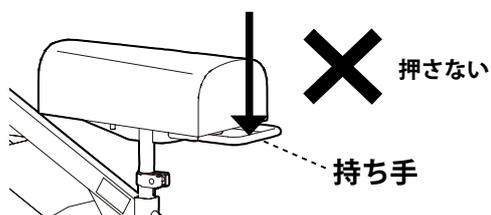
指示

スロットルレバーを操作するときは、ゆっくり行ってください。

※急に操作すると、急発進して危険です。

取扱いのポイント

- シートの持ち手を強く押したり、体重をかけたりしないでください。



■ 始動

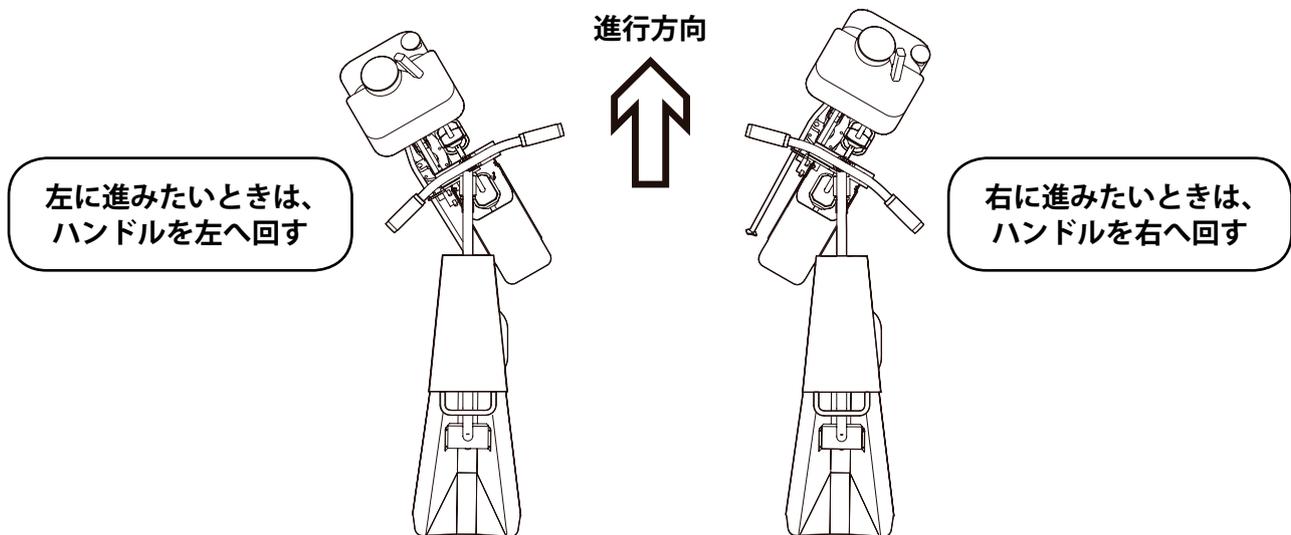


- ① スタンドを上げます。
- ② シートにまたがって、両足を隣の条間に着地させてください。
- ③ スロットルレバーを徐々に高速にしながら、2～3歩助走して発進します。

シートの前方に座ると、牽引力が出やすくなります。
シートの後方に座ると、しっかりとした溝を作りやすくなります。

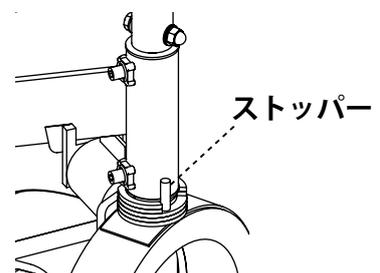
■ 進行方向の調節

- ハンドル操作によって進行方向を調節できます。
- ハンドルと車輪は連動しています。進行方向に対して右に進みたいときはハンドルを右へ、左に進みたいときはハンドルを左へ回します。



取扱いのポイント

- ハンドルは、ストッパー位置までしか回りません。
- ストッパー位置を越えて、無理に回さないでください。

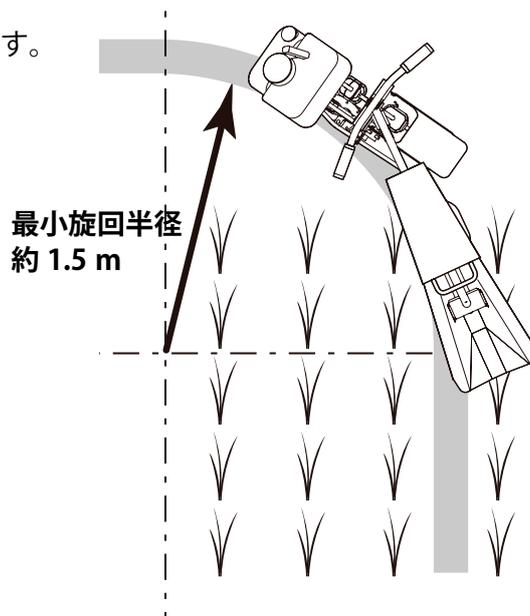


■ 方向転換

- 方向転換はハンドルを操作するか、機械を持ち上げて行います。

(1) ハンドルを操作する場合

- 圃場の端に近づいたら、ハンドルを大きく切り、旋回します。
- 最小旋回半径の目安は、約 1.5 m です。
- 直角には曲がれません。車輪や溝切板で稲を倒す場合があります。



(2) 機械を持ち上げる場合

- ① エンジンを停止します。
- ② 機械を持ち上げ、方向転換します。
機械の持ち上げ方は、12 頁を参照してください。

■ 機械が進みにくい場合

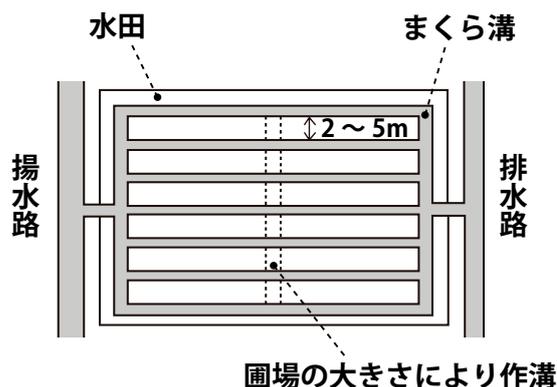
- 圃場条件（泥深い圃場等）や、作業者の体重によっては、機械が進み難くなる場合があります。このような場合は、機械から降り、機械を牽引して歩行にて作業してください。
- 本機は、作業者の体重を 80kg 以下と想定しています。

取扱いのポイント

- 機械が進みにくい条件で無理に運転すると、減速機に負担がかかります。
※減速機が過度に過熱し、ギヤオイルの吹き出しや、ギヤの早期摩耗を引き起こします。

■ 作溝間隔

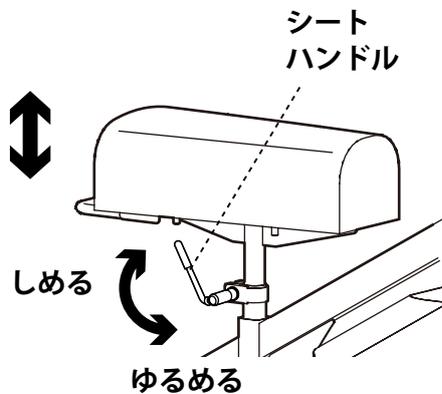
- 作溝間隔は、一般的に 2～5 m 毎に行います。
- 圃場条件、目的によって適宜作溝間隔を決めて作業をしてください。
- 各溝の交点は必ず連結してください。



圃場の大きさにより作溝

調節箇所

シートの高さ調節



- 無段階調節が可能です。
- シートハンドルをゆるめて任意の高さに調節した後、シートハンドルを確実に締めてください。

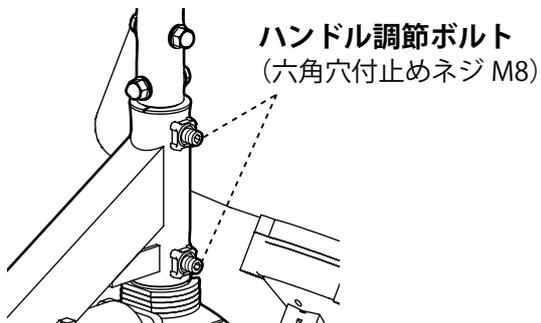
⚠ 注意



禁止

シートのパイプに印されたラインより上に上げないでください。
※脱落の恐れがあり、危険です。

ハンドル部の予圧調節



- 出荷時は調節済みです。
- ハンドルがふらふらする場合は、ハンドル調節ボルト（2個）を締めてください。（六角レンチ 4mm を使用）
- 締めすぎると、ハンドル操作が重くなりすぎるので注意してください。

テールパイプの向き

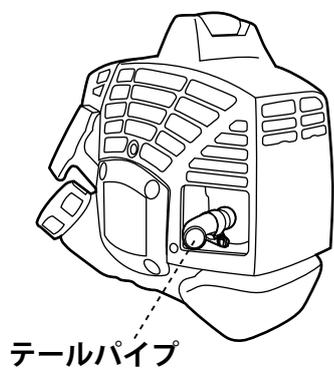
⚠ 注意



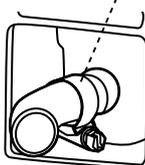
エンジン停止

エンジンを停止して、冷えてから行ってください。 ※火傷、けがの恐れがあります。

- 風向き等により、排気ガスが稲や作業者にあたる場合は、テールパイプの方向をその都度、調節してください。



クランプバンド



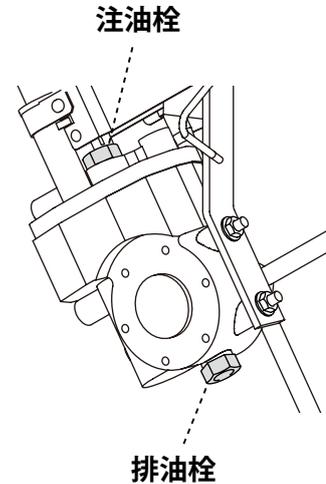
- ① クランプバンドを緩めます。
- ② テールパイプの方向を調節します。
- ③ クランプバンドを締めます。

締めた後は、テールパイプが手で簡単に外れないことを確認してください。

保守・点検・保管

ギヤオイルの交換

- 出荷時、減速機にはギヤオイルが充填してあります。
- シーズン終了時、もしくは10時間作業後にオイルの交換を行ってください。
- 排油作業は注油栓と排油栓を外して行います。ギヤオイルが出なくなるまで、確実に排油してください。
- 排油作業は運転後の減速機の温かいうちに行うと楽ですが、運転直後は火傷の恐れがありますの行わないようにしてください。
- ギヤオイルは出光製『スーパーギヤオイル 460』を230cc使用してください。



排油時は垂直に傾ける

取扱いのポイント

- オイルを長時間交換しなかったり、オイルの量が少ないと減速機が破損します。

長期保管

- 本機各部の汚れを清掃し、錆の発生の恐れがある部分は、油の染みた布で拭いてください。
- 来期に備え、各部の点検（13頁）を行ってください。
- エンジンについては、エンジンの取説を参照し、整備を行ってください。特に次の項目は必ず行いましょう。
 - ・ エンジンの燃料タンクやキャブレター内の燃料は必ず抜き取ってください。
 - ・ 点火プラグを外して、点火プラグ穴へ（潤滑油）を少量注入します。クランク軸を数回手回しして止めてください。点火プラグを取り付け、圧縮のあるところまで締めます。

主要諸元

■ 本機 (エンジンを含む)

名称	NTH4000-JS	NTH4000-JK
全長	1340 mm	1365 mm
全巾	510 mm	510 mm
全高	995 mm	995 mm
質量	22.5 kg	22.6 kg
減速比	1/230	
車輪外径	600 mm	
車輪回転数	30 rpm	
溝巾	210 mm	240 mm
溝深さ	110 mm	120 mm
作業速度	0.8 m/s (※ 1)	
能率	60 a/h (※ 1)	

■ エンジン

名称	GZ40N
型式	空冷 2 サイクル
排気量	40.1 cc
出力	2.0 PS / 8,500 rpm
燃料	エンジンの取扱説明書を参照 (※ 2)
始動	リコイル式
点火方式	無接点式マグネット点火
気化器	ダイヤフラム式
タンク容量	0.7 ℓ

(※ 1) 作業速度、能率は標準的な目安の値です。圃場状態、作業本数によって変動します。

(※ 2) 燃料の混合比は、オイルのグレードによって変わりますので、エンジンの取扱説明書を参照してください。

補修用部品について

補修用部品の供給年限について

- 本製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後 8 年といたします。
- ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期等についてご相談させていただく場合もあります。



修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社 国内営業本部



0570-084987

月～金／9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

<http://www.zenoah.co.jp/>

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社:〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9